

会 議 録

第5回地域の学校教育のあり方を考える会

地域の学校教育のあり方を考える会

事務局 多可町教育委員会教育総務課

第5回地域の学校教育のあり方を考える会 会議録

■日時 令和3年3月10日（水）午後7時00分～午後8時45分

■会場 ベルディーホール会議室

■出席者 29名／29名（敬称略）

・会長 宮崎 信彦 ・副会長 橋本 衛 ・副会長 伊藤 竜太
・委員 藤原 恵美 多方 正行 西田 修 熊田 勝彦 足立 浩之
畑中 重信 白石 典之 堀口 善弘 中 孝浩 橋本 行広
寺尾 元基 足立 宗貞 藤田 貴久 植田 美香 朝妻 香織
笹倉 祐子 安平 吉孝（安平りつ子代理） 藤田 佳織 菅家 知子
長澤 高意 竹中 裕貴 神崎 進吾 谷尾 秀伸 荻野 学
吉田 重徳 足立 徳昭

【事務局】

・教育長 越川 昌信（令和3年1月1日就任）
・教育担当理事兼教育総務課長 宮原 文隆
・学校教育課長 藤本 志織
・学校教育課主任指導主事 吉田 勇二
・学校教育課副課長 届木 豊和
・教育総務課副課長 高橋 敏
・教育総務課課長補佐 山本 聡

■傍聴人 3名

■議題

- (1) 次第3（1）会議録等について
- (2) 次第3（2）『子どもたちの望ましい教育環境』のまとめについて
- (3) 次第3（3）望ましい教育環境のモデルについて

■会議結果

- (1) 第4回会議録が承認されました。
- (2) 本会における『子どもたちの望ましい教育環境』をまとめ、了承を得ました。
- (3) 中学校について「現状のまま」存続させるか、「統合する」かについてワークショップを実施しました。

■会議の経過

次第 1. (事務局)	開会 ただ今から『第5回地域の学校教育のあり方を考える会』を開催いたします。
	資料の確認と注意事項 会議を始める前に、資料の確認と注意事項がございます。 ○資料の確認 ○注意事項（紙面により） ・会議作成のための録音 ・会議録は委員承認の上、後日ホームページで公開 ・傍聴希望者への注意事項
次第 2. (事務局)	会長あいさつ それでは、次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。 次第2でございます。会長あいさつをお願いいたします。
(会長)	<p>みなさんこんばんは。ご苦労様です。なかなか会議が開催されずに、案内ばかりが届くという感じになったかと思います。前回の会議から12月に開催しますということで、案内が行ったと思いますが、多可町内でコロナの感染者が発生したということで見送りになりました。1月に入って案内状が届いたと思います。これも緊急事態宣言が出たということで延期になってしまっていて、2月28日まで解除されなかったということでもあります。そんなことで、事務局と相談したのですが、私が一番懸念したのが、やはりみなさんの気持ち、今までいろいろと議論してきたことが飛んでしまわないかと、集まった時に前回までのことを忘れてしまわれていないかと、何か検討できないだろうかと事務局と相談しまして、みなさんのところに説明動画を届けることになりました。見ていただいて、いろいろと意見をいただいた方もございます。そんな中で、なんとか継続して意識を持ってもらえたかなと思っております。そして、3月に開催ということで、役員さんの交代もある時期ですので、これまで議論してきたことのまとめや方向付けができないかと思いました。副会長とも相談し、小学校については、当面複式学級が発生しないということなので、中学校に絞って議論して、決定ではないのですが、方向性が示せたらなと思います。中学校については、すでに1学年1クラスという学校も出てきております。来年度にも2つの学校で1学年1クラスが出てくるようですので、喫緊の問題だということから、中学校に絞って議論してみてもどうだろうかということで、この会を開催しております。あと、小学校については議論しないというわけではなく、中学校のあとに議論を進めていくように考えておりますので、ひとまず今日は中学校にテーマを絞ってやっていきたいなと思っております。様々な団体から出てきていただいておりますが、今日は団体の代表の意見ではなく、自分の意見として言っていただいたら結構です。そんな中で、この会としてはどんな方向にあるのか、また違う意見もある中で、この会の方向が見えてくるのかなと思います。今日はワークショップ形式でやりますので、ぜひ忌憚のない意見を出していただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>

(事務局)	ありがとうございました。
(事務局)	出席者数の確認 本会議は、設置要綱第6条第2項により、本日の出席者は29名全員出席をいただいております。この会議は成立していることをご報告申し上げます。
次第3. (事務局)	議事 次第3. 議事でございます。 ここからは、要綱第6条の規定によりまして、宮崎会長により進行をお願いしたいと思います。会長よろしく願いいたします。
(議長)	それでは、ここから議長を務めさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。
(議長)	会議の公開について 議事の前に、会議の公開、非公開についてお諮りいたします。 今回は特別非公開とする事項はないと思いますので、公開会議といたしますが、よろしいでしょうか。
	(異議なし)
(議長)	異議がないようですので公開会議とします。
(議長)	傍聴の許可について 次に、本日の傍聴希望者ですが、事務局、傍聴希望者は何名ですか。
(事務局)	本日の傍聴希望者は3名でございます。
(議長)	特に傍聴要領に違反されている方もございませんので、設置要綱第9条の規定により許可したいと思います。ご異議ございませんか。
	(異議なし)
(議長)	異議がないようです。それでは、傍聴を許可したいと思います。事務局、注意事項をお願いします。
(事務局)	はい、傍聴者への注意事項につきましては、お渡ししております「傍聴を希望される方への注意事項」をご確認ください。また、本日の会議資料と過去4回の会議資料を傍聴用として準備しておりますのでご覧ください。 ただし、お持ち帰りはできませんので、ご了承ください。必要な方は、教育委員会のホームページから資料をダウンロードしていただきますよ

	うよろしくお願ひいたします。以上です。
(議長)	傍聴人の方々におかれましては、会議の運営にご協力をお願いいたします。
次第3. (議長)	(1) 会議録等について では、議事に入りたいと思います。始めに会議録の承認についてです。事務局お願いします。
(事務局)	はい。本日みなさまからの議事録承認書の提出を全ていただきました。一部に誤字がありましたので、修正をいたしまして、近日中にホームページで公開したいと思います。ありがとうございました。以上です。
(議長)	それでは、みなさんからの承認をいただいたとのことですので、本会で承認したいと思います。よろしいでしょうか。 (異議なし)
(議長)	それでは、事務局、この内容でホームページでの公開をお願いします。
次第3. (議長)	(2) 『子どもたちにとって望ましい教育環境』のまとめについて 続きまして、議事の(2)「子どもたちの望ましい教育環境」のまとめに入っていきます。事務局説明をお願いします。
(事務局)	はい。資料1をご覧ください。コロナウイルスによる緊急事態宣言により、会議が延期となりました。その間、事務局からの説明動画をご覧くださいと思います。その上で、まず、本会における「子どもたちにとって望ましい教育環境」について、まとめたいと思っております。委員のみなさまからは特に質疑等はありませんでしたので、ひとまず、資料1のとおり本会における「子どもたちにとって望ましい教育環境」としてまとめさせていただければと思います。よろしくお願ひいたします。
(議長)	みなさんいかがでしょうか。 では、ひとまずこのようにまとめさせていただきます。ありがとうございました。
次第3. (議長)	(3) 望ましい教育環境のモデルについて 次に、(3)望ましい教育環境のモデルについて、に入りたいと思います。事務局説明をお願いします。
(事務局)	はい。先ほど会長からもお話しがありましたように、コロナ禍における会議の運営方法について、会長、副会長と相談いたしました。今回は、中学校に絞って会議を進めたいと思っております。その理由としましては、委員等のコロナ感染による会議の延期など予測できない事態が生じているということ、②今年度末で一定の委員の交代が予想されること、③基本方針に照らし合わせても、中学校では1学年2学級を確保できない学校がすでにあること、④小学校では当面複式学級が生じないこと、

この理由から、まず中学校に焦点をあてることがよいとご意見をいただきました。

また、ひとたび緊急事態宣言が発出されますと、たちどころに会議ができなくなる経験もいたしました。事前の説明動画を制作するなど、コロナ禍における会議のあり方につきましても、新しい取り組みも進めたいと考えております。

本日は、特に中学校に絞って、次の「望ましい教育環境を実現するため」の方策について、議論できたらと考えております。よろしく願いいたします。

(議長)

みなさん、本日は、特に中学校について議論したいと思います。

それでは、ワークショップを始める前に、みなさまからいただいたご質問があるようです。事務局、説明をお願いします。

(事務局)

みなさまからいただきましたご意見やご質問について回答したいと思います。

まず、一つ目です。中学校が統合する場合には、もっとも早いスケジュール、開校はいつ頃なのかというご質問でございました。近隣の統合の状況からみまして、令和3年度、意見書を提出いただくと同時に、それに基づきまして、多可町小中学校規模適正化基本計画を教育委員会で策定します。そして、令和4年度、令和5年度と2カ年かけまして、計画と設計を行い、令和6年度、令和7年度の2カ年で建設・改修工事を行うといったスケジュールを組みますと、令和8年度開校が最短のスケジュールかなと考えております。それと合わせまして、統合準備委員会を立ち上げて、平行して詳細について検討していただくという形になります。

二つ目です。中学校が統合する場合の通学方法はどうか、ということでございます。前回のワークショップでもご質問をいただいていた内容でございます。まず、多可町小中学校規模適正化基本方針によりますと、中学校では、通学距離は、徒歩及び自転車により概ね6 km以内となっております。ただし、6 kmを超える場合は、バスなどの通学手段を検討しますとなっております。また、通学時間につきましては、概ね30分から60分程度になるように配慮しますとなっております。そして、現状ですけれども、路線バスをできるだけ活用して、利用料は無料となっております。現在バス通学をしている3校、杉原谷小学校、加美中学校、八千代小学校では、路線バスを活用して通学しております。八千代小学校では、行事等で下校時刻が変わる場合は、臨時便を運行することがあるようです。ですが、具体的には、統合準備委員会(仮称)を新たに設置しまして、そこで通学の方法、ルートなどを協議していただくこととなります。

続きまして、「統合する」場合、校舎の新增改築に多額の予算が必要ですが、町の財政は大丈夫ですかというご質問でした。こちらも前回のワークショップで出ていた意見でございます。回答としましては、新校舎の新築もしくは改修につきましては、将来必要な事業として計画しております。長期の財政計画にあげております。また、令和7年度まででしたら、合併特例債、市町村合併に伴う有利な借金ですが活用できます。いろいろなシミュレーションをする中で、一つの方策として考えております。また、予算はどれぐらい必要なのかという質問でしたが、近隣市町の新聞等で発表されている予算について掲載をしております。丹波市の和田・

山南統合中学校は約30億円、今、建設中の加東市東条学園は37億円、最近新聞等でよく出ております加東市社校区小中学校は、約64億円、ちなみに多可町の本庁舎は約27億円で新築しております。以上がご質問いただいた内容でございます。

(議長) 簡単な回答でしたが、ご質問いただいたみなさん、今の説明でよろしいでしょうか。

(議長) それでは、第2回に続いて、ワークショップ形式で進めたいと思います。まずは、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 失礼いたします。第2回に引き続きましてワークショップ形式で行いたいと思います。前は、各区ごとの3班で実施しましたが、今回は中学校に絞って実施します。中学校は区を超えた全町的な議論となりますので、いろいろな立場の方から意見が聞けるように、できるだけ区や役職が重複しないように、また男女比などを考慮しまして、できるだけ多様な意見が聞ける少人数の班編制としております。よろしくお願いいたします。

そして、議論していただくテーマは1つです。

中学校において、

「現状のまま」か「統合する」かについて議論をお願いします。

団体を背負っての意見としては発言しづらいと思いますので、これまで4回会議をしてきた中で、個人としてのご意見をお聞かせいただければなと思います。そして、グループとして1つの結論を出していただきたいと考えております。また、少数の意見や議論の中心になったことなども発表してください。

ご注意いただきたいのは、今回のご意見、方向性は当然、最終の意見ではないということです。今後の議論の方向性を示す方が、会議も効率化が図れますし、より反対の意見が見えやすくなるメリットもございます。当然、最終の意見書が真逆の結論となることもあり得ると考えておりますので、4回議論を重ねてきた「子どもたちにとって望ましい教育環境」の実現にむけて、現時点でのご意見や感想をお願いしたいと思います。

資料2の望ましい教育環境の分類やA3の資料3をご覧くださいながらワークショップを進めていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(議長) それではワークショップを始めます。ワークショップは5班編制で話し合っていて、最後にグループとしての意見を発表してください。少数意見も紹介してください。

本日のゴールは、会全体の方向性が見えればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

申し訳ないのですが、小学校の校長先生、進行と発表、書記お願いいたします。まずは20:00までお願いしたいと思います。

(ワークショップ)

※途中で終了時刻を20:10分に延長

(議長)

ありがとうございました。
それでは、班ごとに発表をお願いします。E班からお願いします。

E班
(委員)

E班です。6名です。6名とも、これまでの協議等から、子どもの育つ環境を一番に考えたら、やはり「統合しかない」のではないかという結論に達しました。ただし、統合した場合にはデメリットも必ずあります。ですので、その克服のための手段をいち早く考えていく必要があるということで、統合した場合に予想されるデメリット、その克服について大きく4つ話が出ました。

1点目です。一つの中学校に統合した場合、2つの中学校区はかなり遠方から通うことになります。やはり路線バスでは対応できないだろう。スクールバスは必ず必要ではないかということ。特に谷がいろいろ分かれている区もありますので、その谷に対応するようなバスを走らせないと通学時間が40分、1時間となると部活動もできなくなるのではないかと、そういう意見が出ました。財政の問題もあるんですけども、スクールバスの台数を必ず確保することが必要ではないか。

2点目です。令和8年度の段階で統合するとすれば、444名ということで、校舎がそれに対応できるのかどうか。校舎、そしてグラウンド、施設、多可町中の保護者が集まってくるための駐車場などが確保できるのかどうか。そういうことをいち早く検討していく必要があるのではないかという意見。

3点目です。子どもたちの人間関係の部分です。思春期の子どもたちが一つの学校に集まります。我々が想像している以上に、子どもたちの中では大きな出来事だと思います。444名の子どもたちが、中学校1年生から3年生までの生徒が一度に集まる、何も起きないことは絶対にない。必ず、いじめだとか人間関係のもつれ、不登校、必ず起きるんだ、それだけの覚悟を持ってすべきだ。それを学校だけでなく、もちろん地域の方全部が覚悟してやる、そういうことが必要なのではないかと思います。そのための対策も当然必要です。スクールカウンセラーの増員、不登校対策員の増員、スクールソーシャルワーカーの設置、こういった人的な配置も必要なのではないか。あわせて小学校段階で、それぞれの小学校が交流するような機会を少しずつ設けることも必要なのではないか。

それから4点目です。学校が無くなった地域のフォローは絶対に必要だろう。統合によって学校が無くなることによって、「おらが村の学校」といった意識が大人の方でも薄れないようにするにはいけない。それと合わせて定住対策。学校が無くなった地域では、子どもの数が減る、大人も含めて人口が減る可能性があるので、そこも含めて、地域の魅力を発信したりと、定住対策をしていく必要があるのではないか、という意見が出ておりました。以上です。

(議長)

はい、ありがとうございます。E班につきましては、「統合する」という方向で、ただ、デメリットの対策として、大きな4つを早急に検討するというところで、スクールバスであったり、施設の確保、人間関係、スクールカウンセラーなどを設置するであったり、学校が無くなった地域へのフォローであったり、定住対策、大きな課題に対処する必要があるのではないかという意見でした。

では次、D班よろしくお願いします。

D班
(委員)

D班の報告をいたします。D班としましては、結論としては一つにはまとまっております。その場の意見としては、「統合が望ましいのではないか」という意見が多かったです。その理由としては、やはり一定の教員数を確保して、そして子どもたちが切磋琢磨し、子どもたちの学びの環境を整えるには、「統合が望ましいのではないか」という意見でした。

一方、「将来的には統合が望ましい」と考えるんだけど、やはり子どもたちの通学方法等々の負担を考えると、「もうしばらくは3校のまま、地域の学校として存続したほうが望ましいのではないか」といった意見も出ておりました。そして、統合にあたっては、先ほどもE班でも出ていましたが、やはり、子どもたちが思春期に入って、非常に人間関係が心配である。またいろんな地区から集まってくるという中でストレスが生じたり、いろんな不安が増大するだろう。そういったことにでも、しっかりと対応できる体制づくり。スクールカウンセラーであったり、スクールソーシャルワーカーであったり、子どもたちのメンタル面のケアをしっかりと行いながら、よりよい人間関係を築いていけるような体制づくりは、絶対に欠くことはできないといった強い意見が出ておりました。

一方、新しい意見としては、可能かどうかわかりませんが、統合するにしろ、3校が存続するにしろ、一定の試行期間のようなものを設けて、例えば、どこかの学年が、ある学校に集まって何かをやってみる。そういったことを経験して、その課題等を検証しながら、これはやはり統合が望ましいとか、3校が存続したほうがいいのか、少し試行的な事ができるのであれば、そんなことを加味しながら、いろんなことにトライしてみて、その結果をもって、統合である、あるいは存続といった結論を方向付ける。どうすればよいかは難しいんですが、3校の授業が日々続いている中で、どのようにして試行するのかは、大きな課題だと思うのですが、そういったことを一度やってみて、結論を出していく、そういうこともできるのではないかといった新しい考えも出されました。以上です。

(議長)

はい、ありがとうございます。D班としては、どちらかといえば「統合」、また半々の意見がありましたということでした。先ほどE班でも出たように、子どもたちのストレス解消、相談を受けるためにスクールカウンセラーであったり、メンタル面をきっちりフォローしてやって欲しいという意見が出ているということと、試行期間を設けて検証してはどうかというアイデアも出ていたと思います。これについては、一回お試的に、今後検討してもらうこともありかなと思います。

ではC班、よろしくお願いします。

C班
(委員)

C班です。全員で6名です。出ていた主になる意見は、「現状維持が望ましい」という意見になりました。その根拠となるのは何点かあるのですが、まず一つ目は、今の状態で頑張れないのか、もう少し工夫をすれば、なんとかいい方法も見出せるのではないかと意見が出ました。その中で、小規模校を存在させるための文科省の手引きに記述がある。それを見ると、小規模校であっても、その利点を活かしたり、デメリットをメリットに変えていく方法が載っている。具体的には、切磋琢磨する機会が少人数では少ないということではあるが、PTAであるとか、そ

の学校の卒業生の先輩であるとか、地域を巻き込むことで、切磋琢磨するような環境づくりができるのではないかという意見があがっています。

それから、少人数だから難しい部分があるけれども、規模を大きくするためにリモートという方法もあるのではないか。今、コロナ禍で注目をされていますが、そのリモートをうまく活用することで、少人数のデメリットをメリットに変えることができるのではないか。そうして、現状のままいけないかなという意見が出ています。

それからもう一つ、出ている資料を見たときに、現状のままだったらデメリットが非常に多く出ているけれども、この目線は大人目線であって、子ども目線であればそうではないだろうという意見が出ていました。小集団でも、十分に集団はできるだろうし、競争力がなかなかつかないとか、小さな学校から大きな学校へ行ったときに、小さな学校からだと言引け目を感じることはあるけれども、逆に大事に育ててもらふことで、そういったことを乗り越えていける力にもなっているということも出ていました。

もう一つは、自分自身が小学校を小規模で生活してきて、安心して生活ができてきた。逆に中学校へ行ったときに、小さな学校から大きな学校の人を見たときにちょっと不安感があって、その不安感が自分自身の体験の中であって、次に自分の子どもが統合した大きな中学校に入ったときに、同じように戸惑いがあったりして、不安に思うのではないかという心配する意見がありました。

また、統合してはどうかという意見もありました。競争力をつけるということは、やはり必要であるという意見、それからお互いに、大きな学校に対する小さな学校としての引け目を取り除くためには、大きな学校が良いのではないかという意見が出ていました。

それから、どちらでもないという意見で、現在はここでいろいろ話しているけれど、今後PTA向けの説明会もあるのであれば、ここで決めてしまわずに、説明会の中から意見を吸い上げて決めて欲しいという意見、現場の教師の声とか、それ以外にも保護者の声とか、実際の生の意見を聞かせてもらって、教育委員会の声も聞かせてもらって、もう少ししっかりと練っていく必要があるとの中間の意見がありました。

あとは、統合も致し方ない部分もあるということで、人数の急激な減り方を見たときに、お金の問題を見たときに、統合も致し方ないなどの意見がありました。以上です。

(議長)

はい、ありがとうございます。C班については、「現状のまま」という形で、大変たくさんの意見をいただいております。やはり、今のままで頑張ることはできないのかなということ、切磋琢磨する事についても、地域を巻き込んで、大勢を巻き込んでといった意見が出ていたようです。大変たくさんのご意見ありがとうございました。

それでは、B班お願いします。

B班
(委員)

はい、B班です。6名で話し合いました。全員が「統合の方向で」というわけではありませんでした、「統合した方がよい」という意見が多かったということです。

ただし、統合する方向でもクリアすべき問題点があって、大変校区が広がるので、通学面での問題、それから統合することによって学校が

無くなる、地域の学校が無くなる面での心配。あるいは、3校が統合する、それぞれ学校のカラーがある、そういった中で、生徒が一つの学校になった時の人間関係が心配である。その中で問題行動等が起きないだろうか心配、そういった事がクリアされるだろうか。それから、統合することによって、学校が地域から無くなる、多可町に定住してもらうために学校は必要だけでも、それが無くなってしまいう地域がある、そういったジレンマがあるのではないかという意見がありました。

それから、今の段階では、統合をしたほうがいいのか、しないほうがいいのかわからないという方がありました。その方のご意見は、小規模校であっても、生徒が学習面、部活動面で頑張っている状況があると聞いたり調べたりしてわかったので、そういったことを考えた時に、小規模校だから充実した教育活動が行えないわけではないということから迷っているという意見がありました。今、議論しているのはどう見ても大人から見てこうじゃないかという考え方で議論が進んでいますが、統合する学校で学ぶ中学生がどんな思いでいるのか、子どもたちの理想としてはどういった考えを持っているのだろうか、そういったところもフォローすることが大事なのかなという意見が出ました。

あと、中学校も小規模校になったときに、教員免許の関係があるのですが、複数の免許を持った教員を優先的に採用することが教育委員会として可能なかどうかという質問が出ていました。現段階では、B班として意見はまとまっていませんが、このような意見を頂戴しております。

(議長)

はい、ありがとうございます。B班としては、どちらかというところ「統合」という委員が多いようですが、やはり課題がたくさんあるというところが出ております。C班でも出ておりましたが、やはり子ども目線でもう一度考えてみるという意見が、B班でも出ているという形になります。大変たくさんの意見が出ておりますので、また整理していきたいと思えます。

ではA班お願いします。

A班
(委員)

失礼します、A班です。6人で話し合いました。「現状のまま」か「統合する」かのどちらかで意見を述べていただいた中で、大半は「統合する」でした。大きな理由としては、説明動画や資料を見たり、出生数ですとか学習環境、学習をしっかり受けられるかどうか理由として出ておりました。人数が少なければ、なかなか切磋琢磨することができないのではないかという意見が出ておりました。「現状のまま」がもちろんいい。文化がそれぞれ区ごとによって違うので、少々道が悪くても、進むのが難しくてもですね、もう少し辛抱して現状でやっていく必要があるのではないかという意見がありました。ところが、こういった話をしながら「統合のほうが良い」と言っているとしても、天秤にかけると「統合」の方が重いわけではなくて、「統合」の意見を持っている方の中にも、町で教員を雇っていけるんだったらそれも有りかなとか、それと登下校ですね、多可町は南北27キロありますので、通学に非常に時間がかかって、いわば5分で帰れる人もいれば、1時間かかる人もいる、それはどうなのかなとか、いろんな話が出ていて、一概に「統合とは言えない」という意見も出ておりました。

それから、部活動の話が出ていて、今まで部活動の議論がたくさんされてきたんですけど、やはり部活動の指導者を絶対に教員がしなければ

ならないという時代でもなくなってきたので、部活動が充実しているじゃないかという感覚で統合しても、実際できない場合もあるという話も出ていましたので、そのあたりもお伝えしなければいけないのかなと思います。

それから、そういいながらもですね、部活動の指導者に地域の方を呼ぶという話も出ていたのですが、午後4時からとか地域の人に指導に来てもらうのも難しいとなると、部活動の議論が出ていたのですが、それだけで、学校統合によって部活動の課題が解決するわけではないという話が出ておりました。

ほかの班でも出ていたのですが、A班でも出ましたのが、このメンバーで話をしているのはもちろんいいんですが、実際に令和8年度とか、令和14年度に入学してくる子どもとかその保護者の立場になった場合に、どんな思いを持っておられるのか、この場の考えは一旦、地域の方に返したりとか、統合の時に入学してくる保護者とかの意見も参考に聞く必要があるのではないかということでした。みんなは「統合かな」とももちろん思っていますが、「現状のままでも」という「統合」した時の不安もたくさん持っているなということが意見として出ていました。以上です。

(議長)

はい、ありがとうございます。A班につきましては、相対的に「統合する」という意見というふうにお聞きしました。ただ、「現状のままでも」とか」という意見とか、先生の確保、文化が違う、通学時間の格差、部活動の面についても統合したからできるとは限らないなどいろんな意見が出されたと思います。

(議長)

これをまとめるということですが、みなさんの意見を出していただいて、今日の会議の中身としましては、相対的には「統合する方向」という形になるのかな、そんな意見が多かったように思います。ただ、今日出ました意見は、私が思っている以上に、たくさんの「ただ、」というたくさんの課題があるということ、この「ただ、」という課題をしっかりクリアして、議論して欲しいと思います。ですから、このあと事務局の方で議事録を整理してもらいますけれども、今日は本当の忌憚のない意見がいっぱい出ていますと感じています。ですから、その意見をきっちり整理していけば、「統合のほうがいい」けれども、その時の悩みっていうのをなんとか解決してクリアして欲しいなという話が多かったかなと思います。

また、違う目線で見たい、子どもたちの立場で見たい、それから未就学の子どもたちの保護者の意見を入れる、子どもたち自身の意見、先生の意見など違う立場からの意見をいただけたらと言う意見もありましたので、今後、4月以降の次の会議でも、また事務局でも計画してくれると思うのですが、アンケートであったり、学校、PTAへの説明会であったり、そういった場で説明をしながら意見を聞いていくといった形をとっていきたいと思います。今日の方向性としては「統合」という形になるかと思いますが、やはり、「統合なんやけれどな」という何か引っかかったような感じの「ただ、」という部分が、やはり今から大きな課題だと思いますので、そこをしっかりと整理して、また議論していきたく思いますので、続けてやっていきたく思います。私の方で感じたところを素直に述べさせていただきましたが、みなさんも、ほかの委員さんの意見をお聞きいただいて、考えを整理していただきたいと思います。

今日のところは、みなさんから、こういった意見をいただいたということで、まとめさせていただいて、次年度になりますけれども引き続き、みなさんのご協力をよろしくお願ひしたいと思います。それでは事務局にお返しします。

(事務局)

はい、ありがとうございました。委員のみなさま、長時間にわたりまして、議論していただき、誠にありがとうございました。

会長にまとめていただきましたように、「統合する」という形でのまとめとなりますけれども、「ただ、」という面がたくさんあるというふうにまとめていただきました。会長の方からも、様々な世代の意見を聞くようにということでございます。教育委員会も今年度予定しておりましたタウンミーティングなどが、ことごとくコロナの影響で実施できませんでした。事前の説明をしていないということもありますので、来年度4月から6月、早いうちに実施をして、現状などを説明させていただいて、その時の意見などをお伝えした上で、議論をしていただけたらと思っております。まずは、校区、PTA、保護者会などへ説明会を実施したりですとか、また学校への視察を計画してみたいと考えております。

何か質問やご意見はございませんか。ワークショップで感じられたことなど何かございませんでしょうか。

(質疑なし)

次第4.

(事務局)

その他

それでは、事務局からの事務連絡でございます。

第6回の開催については、委員の交代等も想定されますので、4月下旬から5月中旬を予定しております。

先ほども会長から、そしてワークショップの意見の中にもございましたように、校区、PTA、保護者会向けの説明会については、どの範囲で、こういった形で、場所なども含めまして、日程調整をさせていただきたいと考えております。内容につきましては、本会の内容ですとか、児童生徒の現状と今後の推移など情報提供をした上で、本会の方向性などをご説明できたらと考えております。また、PTAの総会ですとか役員会など集まることがあるかと思ひます。本会の内容ですとか、方向性について、委員のみなさまと情報共有をしていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

そして最後に、委員のみなさまには一年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

令和3年度ですが、引き続き委員のみなさまにはお世話になりたいのですが、お子様の卒業などでPTA会員や保護者会員でなくなった場合は団体との繋がりという面で難しいと思ひますが、引き続きPTA会員や保護者会会員の場合で、名誉職などで残られる場合は、できますれば引き続きお世話になりたいと思ひますので、ご検討をよろしくお願ひいたします。団体事務局を通じまして、依頼したいと思ひます。やむを得ず交代される委員の方におかれましては、引継ぎをよろしくお願ひいたします。総会や役員会を利用していただき、地域の学校教育のあり方を考える会で話し合った内容につきまして、引継ぎをお願ひいたします。事務局からは以上ですが、最後にご質問等はございませんでしょうか。

(質疑なし)

(事務局)

無いようですので、閉会にあたりまして、副会長より閉会のあいさつをお願いいたします。

(副会長)

失礼いたします。短時間ではありましたが、いろいろな意見を出していただきましてありがとうございます。本当に難しいことを考える会だなと実感した次第です。難しすぎて100%賛成とか、だめだとか、100%はないなというふうに感じております。どちらにしても不安が大きいというところで、その不安をいかに克服していくか、フォローしていくか、今日のところは「統合はやむを得ないのかな」という意見が多かったように思いますが、統合するときのデメリットをどうフォローしていくか、もう少し具体的に考えていかないといけないなということ、一方でこんなやり方で頑張れていけるのではないかというようなことを、一方で考えながら、もう少ししっかりと練っていくということが必要だろうと思います。本当に難しいことを考える会にご出席いただきましてありがとうございます。今回はこれでお開きとさせていただきます。ありがとうございました。

(午後8時45分終了)
